

会社案内

会社名 株式会社 テレモーション・マックス

代表者 代表取締役社長 川崎 貞人

従業員数 43名(女性16名)

資本金 1,000万円

本社所在地 〒105-0004 東京都港区新橋5丁目10番8号6F
TEL:03-5776-1241 URL:www.tmx.tv
FAX:03-5776-1242 e-mail:info.tmx.tv



フジテレビ内 〒137-8088 東京都港区台場2-4-8
情報番組部編集控室(メディアビル2F) TEL:03-5500-8976
FAX:03-5500-8977
報道スポーツ編集部(メディアビル12F) TEL:03-5500-8498
FAX:03-5531-8276

事業内容 テレビ番組の編集・企画・制作

沿革 1977年(昭和52年)7月18日
有限会社 テレモーション・マックスとして発足
2002年(平成14年)6月28日
株式会社 テレモーション・マックスに組織変更
2003年(平成15年)1月
新宿事務所・新橋分室を統合し現在地に本社を移転

主な
取り扱い番組

【フジテレビ】	とくダネ!・めざましテレビ・バイキングMORE Live News イット!・めざましどようび Mr.サンデー	その他特番など
【テレビ東京】	ガイアの夜明け・日曜ビッグバラエティ・他	
【NHK】	ようこそ先輩・NHKスペシャル・他	
【NTV】	深イイ話・他	
【TBS】	夢の扉+ 他	
【関西テレビ】	ゆうがたLIVEワンダー	
【北海道文化放送】	みんなのテレビ	その他BS番組など多数

主な取引先 (株)フジテレビジョン (株)共同テレビジョン (株)バンエイト
加賀ソルネット(株) (株)オルタスジャパン 関西テレビ放送網(株)
(株)FCCフジクリエイティブコーポレーション (株)NEXTEP
(株)クリーク・アンド・リバー社 (株)クリエイティブネクサス
(株)東京フィルム・メート (株)ジェイ・ビジョン 北海道文化放送(株)

取引銀行 みずほ銀行 リそな銀行

採用情報

2022年3月卒業生対象

新卒者の採用を開始いたしました。
選考を志望される方は当社HPまたは「キャリアス就活2022」をご覧ください。

採用予定人数	若干名
応募資格	新卒者 2022年3月卒業見込み 大卒 2022年3月31日時点 満24歳まで 専門学校 同上 満22歳まで
採用試験	第一次選考 5月29日(予定) オンラインによる集団面接 第二次選考 6月12日(予定) 個人面談・筆記試験(一般教養)

選考方法

- 1** キャリタス就活にエントリー まずはキャリアス就活2022への登録をお願いします。
- 2** 会社セミナー説明会に参加 3・4・5月 当社主催の会社説明会及び学内合同説明会(共にオンライン)
※ YouTubeによる会社説明会ビデオ視聴も可
- 3** エントリーシート提出 当社HP、採用情報から用紙のダウンロードをお願いします。
エントリーシートと顔写真(スマホなどで撮影した画像可)、
成績証明書を添付し、メールにてお送り下さい。
recruit@tmx.tv
- 4** 一次採用試験 5月29日(予定)一次選考。オンラインによる集団面接。
一次選考通過者はメールにてお知らせいたします。
- 5** 最終採用試験 6月12日(予定)個人面談・筆記(一般教養)
最終面接参加者全員に選考結果を郵送にてお知らせいたします。
- 6** 職場見学 お台場フジテレビにて、職場見学と採用条件の確認を行います。
- 7** 内々定

採用条件 勤務条件

2022年3月卒業生対象

採用条件

雇用形態 正社員（試用期間1年）

年齢制限 4年制大学 24歳（2022年3月31日時点で）
短大・専門学校 22歳（2022年3月31日時点で）

職種内容 人物を重視する採用です
経験不問。映像関係に興味があり、常に努力できる人を求めています。

勤務条件

4年制大学	短大・専門学校	
基本給: 175,000	基本給: 165,000	
職務手当: 35,000	職務手当: 35,000	
合計: 210,000	合計: 200,000	平均年収520万円(30歳平均年収430万円)

賞与	年2回（営業実績による）	有給休暇	年5日
昇給	年1回（営業実績による）	休日	年130日
交通費	全額支給	産休制度	産前・産後6週～8週
勤務地	フジテレビ及び会社指定地	育児休業制度	有り
勤務時間	担当番組によるシフト制	健康診断	年2回
残業	有り	人間ドック	指定年齢者
慶弔見舞金	有り	加入保険	健康・厚生年金・雇用・労災
勤続表彰	有り	退職金制度	中小企業退職金共済機構

採用実績

大卒 24名

短大・専門卒 19名

法政大学・大阪芸術大学・千葉大学・早稲田大学・駒澤大学・東京工芸大学
明海大学・神奈川大学・大阪国際大学・日本大学・桜美林大学・北星学園大学
信州大学・関東学院大学・東放学園専門学校・日本電子専門学校・専修大学 その他

昨年度採用人数 5名

(株) テレモーション・マックス

TEL:03-5776-1241 e-mail:recruit@tmx.tv

採用担当 棚橋 和弘

情報番組部

情報番組部は主にフジテレビ情報制作局・報道局が制作する
めざましテレビ・とくダネ!・バイキングMORE
Live News イット!・Mr.サンデー、の映像編集を担当しています。

情報化社会と言われる現代。刻々と形を変えている世界の出来事をお茶の間の皆さまに届けるため、我々は迅速に対応しています。2019年の国内の重大ニュースとしては、経済界では消費増税にまつわる軽減税率システムが大騒動を巻き起こし、芸能界では芸人闇営業問題が世間を賑わしました。海外に目を向けると、韓国での日本製品不買運動が長引くなど、両国の関係は深刻なものとなり、また香港では反政府デモが過激化し、連日のように衝撃的な動画が放送されました。このような激動の世情に常にアンテナを張って、我々は毎日を過ごしています。

「編集」は最後のチェック機関



我々が担う「編集」という分野は、テレビ番組作りの中で最後の仕上げを任される場所です。編集がVTRのクオリティを左右すると言っても過言ではありません。「やりがい」があります。しかしそれは同時に重大な責任を負ったポジションでもあるのです。「編集」は最後のチェック機関と言われるのは、このためです。事件報道においては限られた時間の中で、事件の実像が正確に伝わる事を第一に考え編集します。なおかつ複雑な人権的配慮も必要となり、モザイクや声変えなどをしなければなりません。公正な判断のもとで犯罪抑止に繋がる事件報道を目指し、社会に貢献しようという心がけています。一方、芸能や音楽・芸術関係の編集には、何よりもエンターテインメント性とバラエティ感覚が求められます。「YOASOBI」から「マティス」にいたるまで、幅広い興味と好奇心が必要となります。新しい感覚を常に持つ優れた映像クリエイターでなければなりません。情報番組部は、確かな技術とセンスを備えた、プロフェッショナル集団であると自負しています。



プライドを持った「モノ作り」ができる

我々は生放送に携わっているため、ディレクターなどの制作陣にカットの選択や映像加工のほとんどを任されているのが現状です。つまりはディレクターの手足となって機械操作をするだけの「オペレーター」とは、立場が多少違ってきます。できあがったVTRは自信を持って「自分の作品だ!」とアピールできる環境です。我々はテーマに基づき、正しい判断のもと、より効果的な映像の構成ができるプライドを持った「編集マン」なのです。そんなキャリアを生かし、フジテレビのレギュラー番組のほかにも各局のドキュメンタリーや情報バラエティなどの編集も担当しています。その経験がレギュラーの仕事にもフィードバックされ生かされる、という好循環を生み出しています。BS・CS放送など番組数も増えている昨今、編集マンの「腕」は必要不可欠なものとなっています。

報道スポーツ部

報道スポーツ部は主にフジテレビ報道番組 Live News イット! のスポーツニュースや情報番組めざましテレビスポーツコーナーの映像編集を担当しています。

情報番組めざましテレビにおいては1994年の番組スタート時からスポーツ編集として携わり、現在に至るまでの24年間、フジテレビの朝の顔となる生放送を支えています。

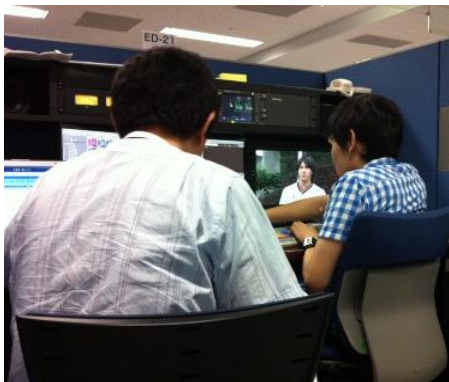
国内外のスポーツニュースを365日、リアルタイムで視聴者に届けることが私たちの仕事です。

2021年の注目は何と言っても東京オリンピック・パラリンピック。

新型コロナウイルスの影響で、現在も開催が不透明な状態となっていますが、自国開催での活躍を誓うアスリートたちは規模の縮小、無観客など感染防止対策を施しながら、縮小した各種目の大会や競技会などでコンディションを整え、さらなる成長を図る日々を過ごしています。

新型コロナウイルスだけでなく、目に見えない敵と戦っているのが、スポーツ界の未来を担う選手たちなのです。『昨日の自分』に打ち勝ち、もっと高い場所へと『明日の自分』を導く姿。

不自由になってしまった日常にあって、感動や希望、熱くたぎるものを与えてくれるのが“スポーツ”、なのかもしれません。



豊富なスポーツの知識

私たちの仕事はキーポイントとなるシーンを探し出し、クローズアップしていくことです。

さまざまな角度で撮影された映像の中から、ひとつの映像を選択することから編集は始まります。スポーツの迫力はそのままに、時には視聴者にわかりやすく解説する効果として、スロー再生や静止画などの編集技術を使い表現します。

そして「ひとつのプレー」「ひとつの表情」をより効果的に見せられるように編集していきます。

アスリートたちが挑戦し続ける姿やパフォーマンスを存分に伝える。そこから生み出される人間ドラマや隠された真実を映像で表現できることが、編集マンにとって最大の魅力です。

編集マンによって出来上がるVTRは変わります。

つまり、個人のセンス・知識・技術力などのスキルを総合的に発揮できる現場なのです。

“スポーツの力”で日本を元気に

暗いニュースが多い今の世の中で、それでも前を向いて情報を発信し続けるアスリート達の心と共に、私たちもスポーツの持つ素晴らしさを伝えていこうと日々奮闘する毎日です。

我々は現地とお茶の間をつなぎ、世界トップレベルのアスリートたちの気迫が伝わる熱い戦いを、全国に届けます。

選手を支える家族やコーチスタッフの密着取材から、まだまだ注目度の低い競技にスポットをあてた取材映像まで、さまざまな映像編集に取り組んでいます。

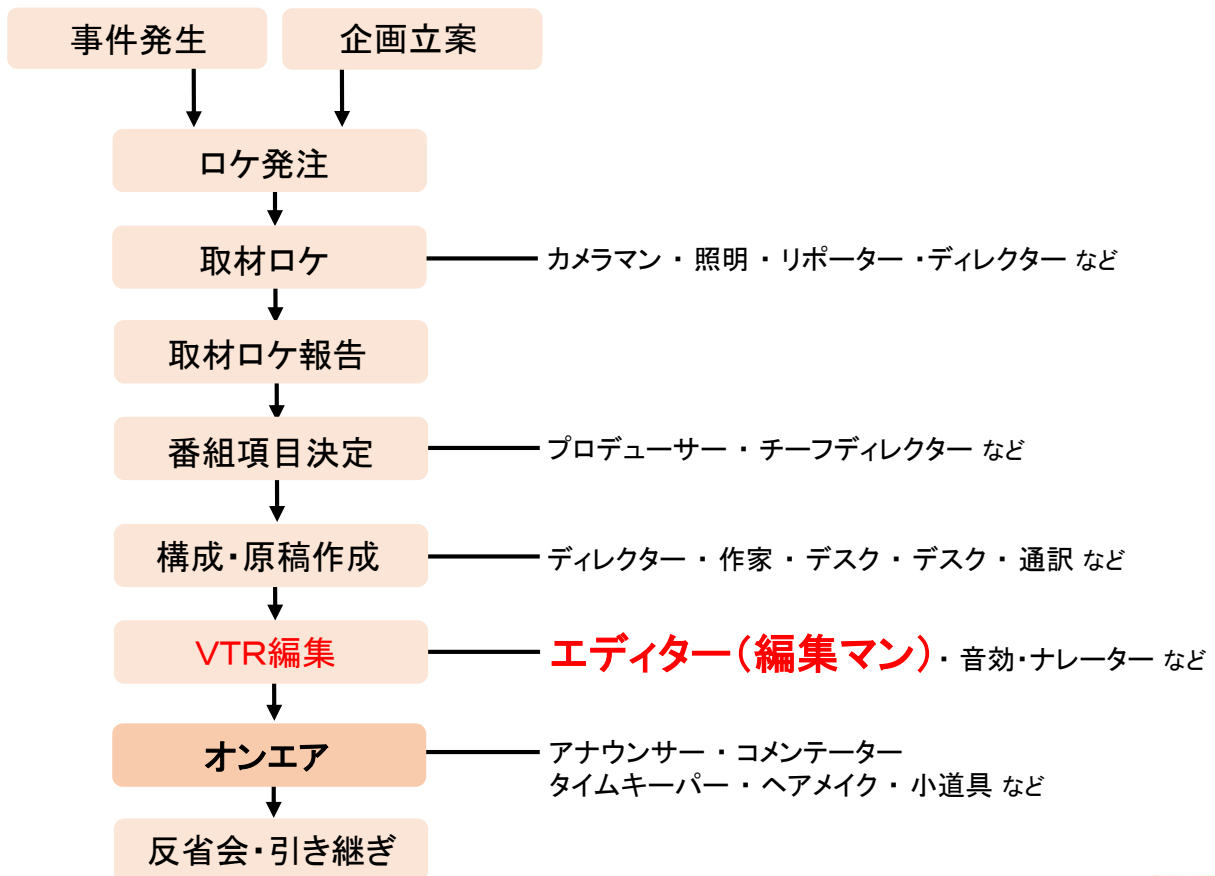
多くのアスリートが発する「スポーツの力」という言葉。この言葉に象徴されるようにスポーツには人を動かすチカラがあることをアスリートがプレーで示し、私たちが伝える。

それがテレモーション・マックス報道スポーツ部の使命であり、その責任と誇りを胸に働いています。

主な担当番組



情報番組 オンエアまでの流れ



FAQ

Q 休日について教えてください

A 週休2日(平均)、年末年始休暇(勤務スケジュールによる変動あり)があります。また勤続2年以上の社員には年度内に1度、各自の勤務表に定められた休日を含み9日を超えない範囲で連続した休暇を取ることができます。

Q 残業はありますか

A 基本的にはありません。その日のオンエアが終われば帰れます。ただし事前編集や企画ものの編集などで、残業になる時があります。その場合は所定就業時間外であれば残業手当が支給されます。

Q 産休制度などはありますか

A 満1歳に満たない子どもがいる場合は、男女問わず育児休職をすることができます。また、子どもが満3歳になるまで時間短縮勤務を選択することができます。復職については、本人の希望日より直ちに現職に復帰することができます。現在2名の社員が育休明けで復帰し働いています。

Q 平均年齢はどれくらいですか

A 2022年1月現在で平均40.1歳。
ベテランと若手がバランス良く、若い社員も現場でバリバリ働いています。

Q 男女の区別はありますか、女性が活躍できる職場ですか

A 我が社は男性、女性という性別で区別していません。当然のことながら仕事の機会は均等にあり、能力をどれだけ発揮したかにより評価されます。役員も含め、部門の責任者として活躍している女性社員もいます。

Q 業界の知識がなくても大丈夫ですか

A 大丈夫です。入社してからの研修や先輩からのアドバイスなど、仕事をしていく中で覚えていけば十分です。

Q 若い人の考えを尊重してくれますか

A 我が社は業務の改善や効率化をはじめ多くのことに取り組んでいます。これを実現するためにも若手社員の意見をどんどん取り入れています。意見を求められるのを待つのではなく、積極的にアイデアや意見を出して欲しいと考えています。

FAQ

Q 採用するうえで、どのようなことを重要視しますか また、試験対策についてアドバイスがあれば教えてください

A 「筆記試験」では一般教養を確認します。あくまでも「最低限」の一般教養です。「作文問題」で注目するのは「ロジック・フレキシブルな発想」「ウィットに富んだ発想」「ユーモラスな表現」などです。特に当日は筆記用具を忘れるなどのケアレスミスには十分に注意してください。面接では積極的な判断力、想像力、それを表現するコミュニケーション能力などを見させていただきたいと思っています。あまり緊張せずに、楽な気持ちで挑んでください。入社試験というのは私たちにとって、共に働いていく仲間を探すためのオーディションだと思っています。ぜひともあなたの特性をいかんなく発揮してください。

Q 社員教育について教えてください

A まず、編集の基礎技術を1から学ぶ研修(3か月の見習い期間を含む)を受け、各自練習。半年後をめどに少しずつオンエアの編集を担当してもらいます。

Q テレモーション・マックスの強みを教えてください

A 1977年(昭和52年)7月に設立され今年で44年目を迎えました。その間、常に安定した経営を維持し、発展し続けています。地上波デジタル時代における技術革新にも柔軟に対応してきました。

常務内容においてはフジテレビ局内にて、情報番組部は「おはようナイスディ」「タイム3」などの情報番組創成期から、また報道スポーツ部は「スーパーニュース」のスポーツコーナー立ち上げから手掛け、共に一分一秒を争う編集から、じっくり時間をかける企画ものも担当するなど、番組の制作・技術側から厚い信頼を得ています。

その実績から他局においても、長編ドキュメンタリーや情報バラエティー番組などの編集依頼も多く、あらゆるジャンルの編集ができる会社と評価をいただいています。

テレモーション・マックス最大の強みは、政治・経済からスポーツ・芸能に至るまで幅広い知識を身に着けた編集マンが多数いること、そして強い信頼関係のもとで、優秀な人材育成ができることです。我々は自立したプロフェッショナルの編集マン集団です。